

京都府立ゼミナールハウス

データ検証	公共性	B	有効性	B	効率性	C
課題・問題点等	<ul style="list-style-type: none"> ・利用率は低いが、直近3年間の利用者数は増加している。また、宿泊者数のうち、大学生の利用は1 / 3程度に止まっている。 ・生涯学習審議会から、ゼミナールハウスを生涯学習拠点として位置付け、施設の再整備が必要との検討報告がされている。 ・築後約35年が経過し大規模改修が必要な状況にある。 					
検証結果	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">継 続</div>					
施設運営等に係る意見	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習拠点として予定されている施設整備・ソフト事業については、費用対効果を十分に精査し、効果的・効率的な運営に取り組むこと。 ・大学連携を深めるなど、施設の本来目的に照らした利用の向上に取り組むこと。 					